

## 【生産者の声】



大区画化で農作業が効率化し、暗渠排水で収量が増えました。

水稲・野菜を生産するFさん

## 基盤整備による農作業の効率化と高収益作物の生産拡大

農地の大区画化や水田の汎用化により**農作業の効率化**が図られるとともに、**長ねぎ等の収益性の高い施設・露地野菜の生産が拡大**。



大区画化により作業効率が向上



高収益作物(長ねぎ)の生産拡大

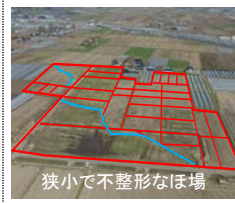
## 基盤整備

(H6年～現在)



## 【整備前】

地域は水稲や野菜の複合経営が主体であるが、ほ場が未整備で不整形であるため**作業効率が低く**、また**湿害**により**高収益作物の生産拡大に支障**をきたしていた。



狭小で不整形なほ場



湿害状況(長ねぎ)

## 【取組地域の概要】

### ○位置

北海道北斗市・亀田郡七飯町

北海道



白川地区 他

### ○主要作物

・水稲、長ねぎ、トマト、にんじん等

### ○主な支援施策

- ・道営ほ場整備事業
- ・道営経営体育成基盤整備事業
- ・農地耕作条件改善事業 (H6～現在)

## 生産現場

### 渡島スマートアグリ構想の推進

- 道が人口減少社会への対応として、**施設園芸を中心とした複合経営の効率化・高度化**を目的とした実証試験を実施。
- 設定温度でビニールが自動開閉する換気装置などの**ICT技術を活用**。



自動巻き上げ機



セミナーの開催

## 加工・流通

### 女性農家による農産物直売と加工品の販売

- **女性農業者6人で「六輪村」**を立ち上げ、規格外**野菜の直売**を開始。その後、**加工品の販売**や**体験工房**、**ランチレストラン**をオープン。
- 消費や交流会の開催などイベントにも尽力し、**地域活性化に寄与**。



六輪村のトマトシリーズ



トマトのバスタ

## 担い手

### 農業を主体とした体験型観光(教育旅行)

- 教育旅行による農業体験・交流等を通じて、**将来的な移住等に向けたプロセスを提供**。
- 宿泊を伴う教育旅行を今年3月から始め、受入農家も順調に増加。**地域づくりの担い手**となるのが期待。



教育旅行による農業体験

## 生産体制強化・高付加価値化により競争力強化

- 真空予冷施設の整備により、鮮度を維持した**高品質な青果物**を「**函館育ち**」ブランドして全国に安定供給。
- 道の駅を整備し、農業を中心とした特産品の販売を強化するとともに、**6次産業化を推進**。

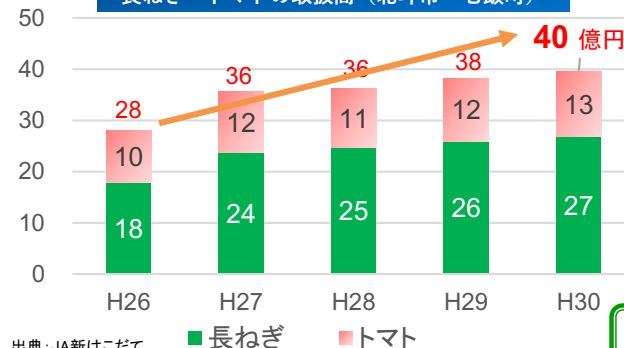


七飯町集出荷予冷施設

道の駅 なないろ・ななえ

野菜の真空予冷処理を行い、道内外に向けて鮮度の高い青果物を出荷

### 長ねぎ・トマトの取扱高(北斗市・七飯町)



出典: JA新はこだて

### 【生産者の声】

ほ場の作業効率化に伴い、潮トマト等を導入し収益が向上しました。



潮トマト生産者のOさん

### ほ場の大区画化により営農作業効率化

ほ場の大区画化・汎用化を契機に、**労働時間の短縮により余剰労力が創出され、6次産業化の取組や高収益作物の栽培が定着。**

### 基盤

#### 【整備後】



#### 【整備前】



### 基盤整備

(H14年～現在)

### 【基盤整備前】

**区画が狭い、排水が悪いなど生産コストの低減や農業経営の規模拡大に支障をきたしている。**

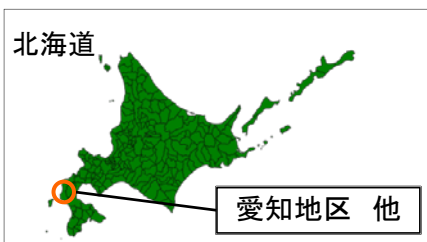


ほ場の泥濘化状況

### 【取組地域の概要】

#### ○位置

北海道久遠郡せたな町



愛知地区 他

#### ○主要作物

・水稲、小麦、そば、馬鈴薯、ほうれんそう、ブロッコリー、豆類等

#### ○主な支援施策

- ・道営農地整備事業(経営体育成型)(H6～現在)
- ・道営農村地域防災減災事業 (H30～現在)
- ・農業基盤整備促進事業(団体営) (H26～H29)
- ・農地耕作条件改善事業(団体営) (H30～現在)

#### ○町の支援施策

・せたな町農業チャレンジ等支援事業

### 生産現場

### 水稲の直播栽培やブランド化の取組

- 平成24年から、育苗・田植え等を省略する水稲の**直播栽培**に取り組み、**省力化を図っている。**
- 平成29年から厳格な栽培基準で生産されたお米を「**プレミアムふっくりんこ**」のブランドで出荷。
- 「Yes! Clean」の認証資格を取得したほうれん草を「**ほこほこ大地**」のブランドで出荷。



水稲直播の状況

### 加工・流通

### 6次産業化や安全・安心への取組

- 平成28年2月に地元ブランド豚肉「**若松ポークマン(SPF豚)**」の**加工・直売所を開設。**
- 地元で生産する米を飼料に配合することで高付加価値化を実現。**
- 平成30年6月には「**農場HACCP**」、11月には「**畜産JGAP**」を取得し、安心・安全な農場管理を実施。



加工品等

### 担い手

### 農家中心の担い手対策

- 平成28年に農家で構成する「**せたな町農業担い手受入協議会**」が設立。
- 行政、JA等と連携して**就農フェア等に積極的に参加し**、新規就農者対策等を実施。
- 農業塾では年3回の講義と年1回の**先進地視察を実施。**



就職フェアの状況

### 新たな高収益作物の導入による収益の向上

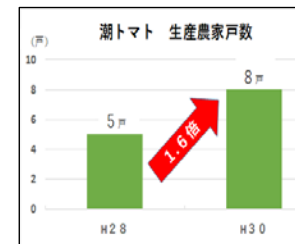
- 平成28年から水稲育苗後のハウスを利用し、塩分を0.1%まで薄めたミネラル豊富な海洋深層水を与えて栽培した「**潮(しお)トマト(高糖度トマト)**」の作付けを開始。
- 塩分ストレスにより**糖度は8度以上で通常の2倍。**
- 生産当初と比べ、**生産農家戸数が1.6倍、販売額が8倍に増加。**
- 主に東京・京都・大阪などの大都市圏に出荷。
- TV番組などに取り上げられる機会も多くなり注目度が高まっている。



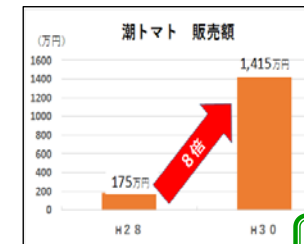
生育状況



箱詰状況



(出典: JAきたひやま)





## 【生産者の声】

大区画化することで省力化が実現し、経営規模を拡大することができました。

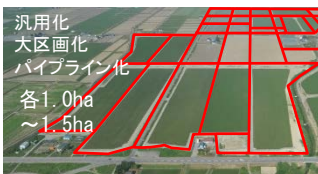


ICT活用を推進するNさん

## ICT技術導入と高収益作物への転換の推進

- 水田の汎用化により輪作が可能となり、**生産性が向上**。また、**大区画化**、**地下かんがいシステム**の導入により農作業の**大幅な効率化・コスト縮減**が実現。
- 基盤整備を契機に**自動操舵システム**や**防除用ドローン**を導入し、労働力不足の解消及び資材の無駄や作業負担を低減。

## 基盤



## 基盤整備

(S53年～現在)

## 【整備前】

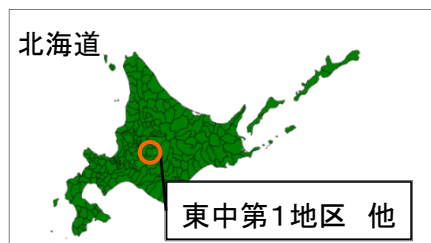
農地は**区画が狭小**で大部分が未整備の**湿田**であり、**排水不良**による**生産性・農作業効率が低下**。



## 【取組地域の概要】

### ○位置

北海道空知郡上富良野町 他



### ○主要作物

・水稲、小麦、大豆、馬鈴薯、玉ねぎ、にんじん、南瓜、スイートコーン 等

### ○主な支援施策

- ・道営経営体育成基盤整備事業(H19～)
- ・道営かんがい排水事業(H22～H26)
- ・道営農地整備事業(通作条件整備)(H27～)
- ・中山間地域等直接支払交付金(H23～)

## 生産現場

### 大区画化やICT活用による大幅な省力化

- 「東中地域ICT農業実証研究会」を組織し、**ICT農機**(自動舵、UAV)による**営農実証**を行うことで地域における**スマート農業の普及を推進**。
- 上富良野町が**RTK-GPS基地局を整備**し、**GPSトラクタ**などが地域で利用可能。



## 加工・流通

### ふらのブランド化と6次産業化の取組

- JAふらのでは「**にんじんジュース**」、「**野菜ソース**」、「**ドレッシング**」、「**レトルトカレー**」など多彩な素材を生かした**多彩な商品**を提供。
- フラノマルシェ開業(H22)**に合わせJAふらの直売所をマルシェ内の「**オガール店**」に統合し**売上げが急増**。



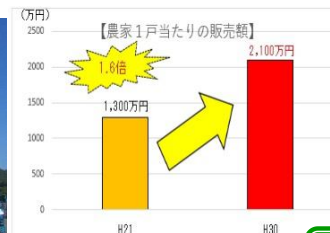
## 担い手

### 支援事業の創設により後継者を安定確保

- 富良野市(他3町1村)では**高収益作物導入**による**所得向上**や**新規就農サポート事業**によって、Uターン・新規就農者などの**担い手が年15～19名確保**されており、**安定的な農家経営を実現**。

## 高収益作物(玉ねぎ・加工馬鈴薯等)生産拡大による農作物販売額の増加

- 玉ねぎ・加工馬鈴薯**を始めとした**高収益作物の生産拡大**によって、**富良野市**(他3町1村)全体での**販売額**は、10年間で278億円から292億円へと**14億円増加**。
- シレラ富良野工場では、**ポテトチップスの製造**(独自ブランド(ふらのタッチ)や**LL牛乳**(常温で長期保存が可能な牛乳)の**輸出にも取り組んで**おり、**首都圏に営業拠点を設けて国内外へふらのブランドを浸透**。
- JAふらのに出荷する**農家1戸当たりの販売額**はH21の1,300万円から2,100万円へと**1.6倍に増加**するなど、**経営体単位でも増加**。



(出典:JAふらの)

## 【生産者の声】

水田の大区画化により、作業時間が大幅に減り、様々な作物を展開できるようになりました。



受益者で法人のGさん

## ほ場の大区画化による営農作業の効率化

### 基盤

大区画化などの基盤整備により、**水稻などの作業時間が大幅に短縮**され、**地域では、野菜などの高収益作物の栽培意欲が向上**。



基盤整備  
(H12年～現在)

## 【整備前】

小区画のほ場が多く、**作業効率が悪い**ため、**野菜などの高収益作物の導入に支障**をきたしていた。



小区画 約0.3ha

### 生産現場

## ICT農業機械や高収益作物の導入

- 大区画化により、**大型作業機械**や**GPS ガイダンスシステム**などを導入。
- 省力化により、いちご、千本ネギ、オクラなどの**高収益作物の導入を拡大**。



GPS付田植機

### 加工・流通

## 加工品の開発や販路拡大の取組

- **特産のいちごを使用したアイス**や**千本ネギを使った「ぴっぷ小ねぎ醤油」**などの加工品を開発・販売。
- JAぴっぷ町は、ホクレンを通じて**米を中国に輸出**するなど、さらなる**販路拡大**への取組を推進している。



醤油など

## 農産物直売所の展開や担い手支援の取組

### 担い手

- **地域の若手農家が直売所を展開**し、様々な野菜や地場の農産物によるソフトクリーム、スムージーなどを販売。
- JAぴっぷ町と比布町では、新しい農産物を導入する農家に対し、**ハウス設置への助成**を行うなど、担い手の支援に取り組んでいる。



直売所店内

## 高収益作物の生産・販売の拡大

- **高収益作物の生産拡大**や**販路拡大**により、**所得の向上**が図られている。
- 地元農業高校の生徒が考案したレシピを参考に、「**ぴっぷいちごアイス**」が**商品化**され、**町特産のいちごの知名度が向上**。



ぴっぷいちごアイス

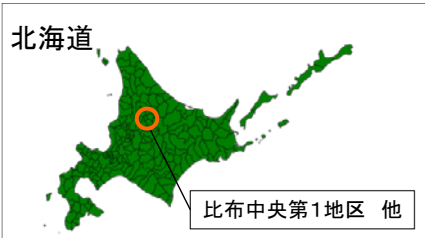


(出典: JAぴっぷ町)



## 【取組地域の概要】

- 位置  
北海道 上川郡比布町

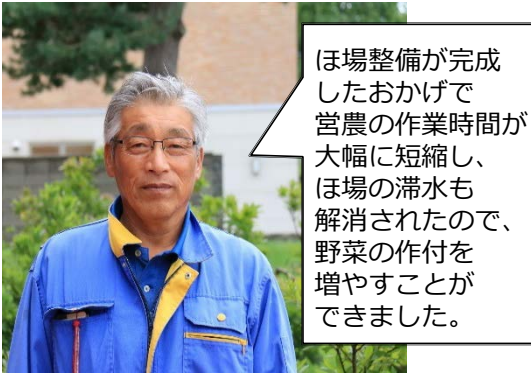


比布中央第1地区 他

- 主要作物  
・水稲 小麦 大豆 小豆 かぼちゃ等
- 主な支援施策  
・道営かんがい排水事業 (S31～S61)  
・道営土地改良総合整備事業、経営体育成基盤整備事業 (H12～現在)  
・道営地域水田支援事業 (H18～H22)  
・国営かんがい排水事業 (H15～H22)



## 【生産者の声】



ほ場整備が完成したおかげで、営農の作業時間が大幅に短縮し、ほ場の滞水も解消されたので、野菜の作付を増やすことができました。

水稲と青果(カボチャ)を生産するAさん

## 大区画化と排水改良により、品質改善と生産性が拡大

大区画化による**営農作業の効率化**と**排水性の改善**により、**高収益作物(カボチャ、キャベツ)**を含めた**輪作体系が確立**し、**生産性と品質の向上が実現**。



基盤

整備

(S47年～現在)

## 【整備前】

低地部のほ場では、**小区画**かつ**排水不良**により、地域を代表するカボチャやキャベツなど**高収益作物の生産拡大に支障**をきたしていた。



作業効率が悪い  
小区画なほ場



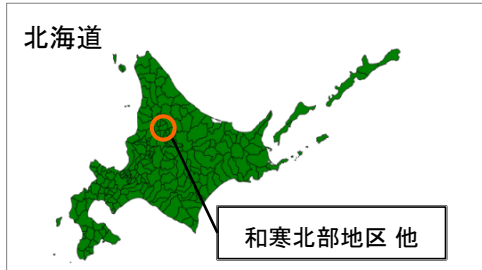
ほ場の滞水による  
作物の水没

## 【取組地域の概要】

### ○位置

北海道上川郡和寒町

北海道



和寒北部地区 他

### ○主要作物

水稲、カボチャ、キャベツ、大豆 等

### ○主な支援施策 (S47～現在)

農地整備事業  
地域水田農業支援緊急整備事業  
農村地域防災減災事業  
中山間地域総合整備事業...等

生産現場

## 土壌管理と気候を生かした品質向上

- 低コストで安心・安全なカボチャやキャベツ作りのため、**ほ場の土壌分析**を実施し、**作物の安定した品質を確保**。
- キャベツは11月の収穫後、雪中に貯蔵し、**1月から3月にかけて出荷**。天然の冷蔵施設により糖分と旨味成分が増す**地域特有の貯蔵方法を確立**。



加工・流通

## 地域連携による商品の開発

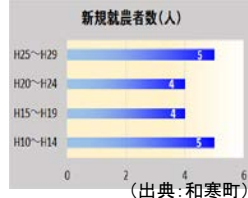
- 地域企業と連携し、カボチャなどの規格外品を使用した**無添加、安心・安全の付加価値化された商品の開発・販売**。
- 青果物は、**道内**はもとより**関東、関西、九州**へ契約出荷されており、加工品も含め**直売所**や**ネット販売**でも購入が可能。



担い手

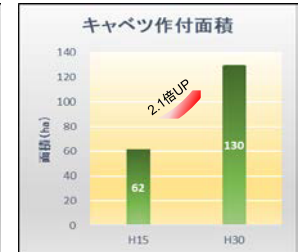
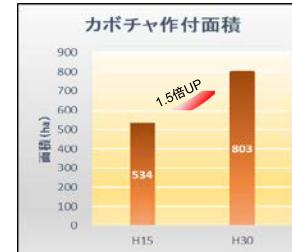
## 新規就農者への技術向上支援と農福連携

- **和寒町農業活性化センター**を設置し、新規就農を目指す人材を募集。3年間**農業技能研修員(研修生)**として農作物栽培、ほ場の管理作業、営農機械の実技等を、**農業後継者として支援**し担い手を確保。また、**農業の雇用拡大**を目的に、**農福連携の推進に向けたセミナー**を開催。



## 高収益作物の作付面積拡大と町おこし

- 基盤整備により**農作業の省力化**と**ほ場内の排水性が改善**され、輪作体系において高収益作物の導入が可能となり、**作付面積が拡大**。



(出典:和寒町)

- 和寒町では特産品であるカボチャとキャベツの名が付いたお祭りが開催され、各種イベントに加え、**青果や加工商品の販売**も実施。**インターネット販売**もあり、**町・企業・生産者が一体となって連携し、和寒ブランドをPR**。



にしん  
～夕陽と鯨番屋の里から～ 高収益作物の導入による安定した複合経営の実現 【北海道小平町】 おびら

【生産者の声】



営農作業の集約化と高収益作物の導入により経営が安定しました。

イチゴ生産者のMさん

基盤整備による作業効率の向上と高収益作物の導入促進

ほ場の大区画化や排水改良により、ほ場の汎用化や作業効率の向上が図られ、地域ブランド「ルルロツ」の原料小麦の安定生産や、余剰労力による「高収益作物(メロン、ミニトマト等)の導入が促進されるなど安定した複合経営が実現。

基盤整備  
(H29～現在)

基盤



整備前→3区画  
整備後→1区画

【整備前】

沢地形のため、不整形で狭小なほ場が多く、作業効率が低かった。

また、排水性が悪く、作物の安定生産に支障をきたしていた。



【取組地域の概要】

○位置  
北海道留萌郡小平町



折真布地区 他

○主要作物  
・水稲、小麦、大豆、スイートコーン、トマト、メロン、ピーマン、イチゴ 等

- 主な支援施策
- ・道営ほ場整備・土地総事業 (S52～H29)
  - ・道営中山間総合整備事業 (H6～H20)
  - ・道営中山間農地防災事業 (H12～H17)
  - ・多面的機能支払い交付金 (H27～)
  - ・農地耕作条件改善事業 (R1～)

生産現場

安定した複合経営の確立へ向けた取組

- 地域ブランド「ルルロツ」の原料小麦作付け面積が拡大。
- 所得向上を目指し、農業改良普及センターと連携の下、落花生の試験栽培を開始。
- 労働力の軽減のため、水稲の無代かき栽培や直播栽培を新たに開始。



加工・流通

高品質化・高付加価値化へ向けた取組

- 管内製粉所と連携した「ルルロツ」の製品化により6次産業化を推進。
- 道の駅「鯨番屋」にて地元JA産米やメロン・トマト・野菜類を販売し、地産地消を推進。



～写真：道の駅「鯨番屋」～

担い手

安定的な担い手の確保

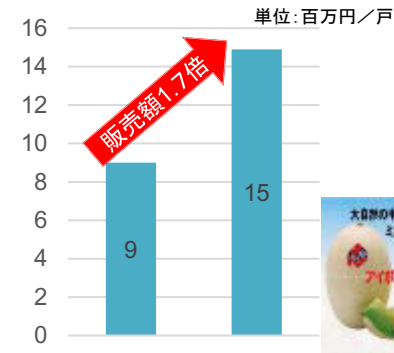
- 新規参入者やUターン後継者など、安定的に担い手が確保されている。
- 農業改良普及センターにより若手後継者対象の農業経営セミナーを実施し経営安定を支援。



農家所得の向上とブランド化への取組

- 水稲はJA南るもい産米として生産され、低タンパク米に向けた品質向上の取組が行われている。
- ゆめぴりかコンテストでは、2017年度 金賞を受賞。ブランド化による所得向上が図られている。
- 耕種農家の販売額は、メロンやミニトマト等高収益作物の導入により、平成21年と比べて約1.7倍と大きく増加。

【戸当たり販売額】



(出典：JA南るもい 聞き取りによる)



## 【生産者の声】

草地整備事業により、牧草の収量が増え栄養価の高い、より高品質な生乳が生産できればと期待しています。



生乳生産を営むSさん

## 草地整備による経営の安定

- 草地整備改良や暗渠排水により牧草の生産量が増加。
- 大型機械の導入も可能となり、優良な自給飼料の基盤を形成。
- 公共牧場の整備により、農家が搾乳部門に集中でき、生産効率が向上。



大型機械による作業



公共牧場へ預け入れ

基盤

基盤整備

(H11年～現在)

## 【整備前】

草地整備の遅れから、雑草の繁茂による牧草の収量減や栄養価の低下がみられる。また、経年変化に伴うほ場内の凹凸が効率的な機械作業を阻害し、低み部が排水不良になるなど、牧草の生産性向上に支障をきたしている。



起伏が著しい草地

## 【取組地域の概要】

- 位置  
北海道枝幸郡中頓別町



中頓別地区 他

- 主要作物  
・牧草等
- 主な支援施策  
・道営一般農道整備事業(集乳農道)H9～  
・道営中山間地域総合整備事業H11～  
・道営担い手育成草地整備改良事業H13～  
・道営草地畜産基盤整備事業H20～  
・道営草地整備事業(公共牧場中核型)H31～  
・農地耕作条件改善事業(団体営)H31～  
・酪農振興支援(町単独)H28～

生産現場

## 基盤整備による高品質生乳の生産

- 自給飼料の生産増及び安定した乳量確保とともに、作業の省力化、労働力不足解消のため搾乳ロボットや餌よせ機械等の導入などスマート農業の導入を促進。
- 品質の高い生乳生産が可能となり、「なかとんブランド」が拡大。



搾乳ロボット施設

## 「なかとん牛乳」で中頓別町をPR

- 小規模多機能型ミルクプラントを整備し、「なかとん牛乳」や「なかとんアイス」を製造。
- 札幌市などの都市圏でPRを行い販路拡大を目指す。
- 中頓別町農業体験交流施設「食彩工房もうもう」では、地域おこし協力隊による積極的な加工体験イベント等により地域を活性化。



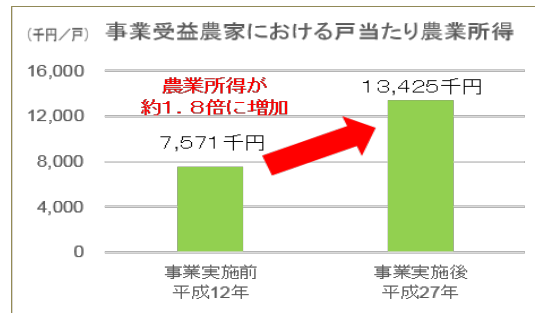
担い手

## 新規就農者等の確保に向けた取組

- 中頓別町農業担い手育成センターでは農業研修生の育成から就農までをサポートし、新規就農者の確保に取り組んでいる。

## 経営規模拡大等による農業所得の向上

- 町内に生乳加工施設を造り、「なかとんブランド」を確立。
- 地産地消や6次産業化の推進、販売網拡大等により農家の所得向上と雇用創出に貢献。
- 基盤整備により農地の湿害等が解消されたことで、大型機械の導入やTMRセンターの取組が促進され、作業効率の向上や高品質な生乳生産が実現。



【出典：実施前は農林水産統計年報、実施後はJA聞き取り】

## 【生産者の声】



人参栽培流通部会員の皆さん

畑地かんがいや区画整理の整備で、生育ムラが減少し、品質の向上や収量が増えました。

## 基盤

### 基盤整備による効率化や品質・収量の向上

畑地かんがいや区画整理の整備で、**水管理の合理化**、**大型機械による農作業の効率化**が進み、**にんじん等の高収益作物の導入**が図られた。



にんじんが導入されたほ場



排水性が改善され、農作業が効率化

## 基盤整備

(S53年～現在)

### 【整備前】

干ばつや湿害により、**高収益作物の安定生産に支障**をきたしていた。不整形や急傾斜のほ場において、**農作業の効率化に課題**があった。



排水不良による湛水状況

## 【取組地域の概要】

### ○位置

北海道斜里郡小清水町

北海道



小清水北第2地区他

### ○主要作物

- ・小麦、馬鈴薯、甜菜、大豆等

### ○主な支援施策

- ・国営畑地帯総合土地改良パイロット事業 (S53～H18)
- ・道営畑地帯総合整備事業 (S63～)
- ・産地パワーアップ事業 (H29,30)
- ・強い農業づくり事業 (H29)
- ・農業担い手育成プロジェクト (H28～)

## 生産現場

### こしみず型循環農業の実践

- 家畜糞尿やじゃがいもの絞り汁を活用した土づくりにより、**資源循環型農業を確立**。
- **クリーン農業の推進**や**JAこしみず式GAPシートを導入**し、本州を中心に、**にんじんをブランド化**。



## 加工・流通

### 高品質・付加価値に向けた取組

- 生協の**独自基準(減肥料・減農薬)**に基づき、**農作物の特別栽培の取組を開始**。
- 福岡県の菓子会社(株)山口油屋福太郎の工場を誘致し、**お菓子「ほがじゃ」の原料**として、**小清水町産の馬鈴薯から製造した澱粉を提供**。



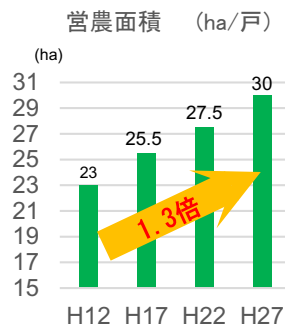
## 担い手

### 小清水町農業担い手育成プロジェクト

- **オホーツク農業担い手養成学校を設立**し、実践的なカリキュラムにより**即戦力となる人材を育成**。
- **請負型農作業支援部門**や**農福連携部門**を設立し、雇用の場を作り、担い手を確保して**労働力不足を解消**するとともに、**障がい者等の就労の場を提供**。

### 規模拡大による生産性の向上

- 基盤整備により、農地の集積が進み、**1戸当たりの営農面積・農業収入が増加**、農業経営の安定化が図られた。
- 基盤整備による**農作業の効率化によって生じた余剰労力**により、従来の畑作3品(小麦、馬鈴薯、甜菜)のほか補完作物として**人参、玉葱、ごぼう、ブロッコリー**などの**高収益作物の導入**が進み、JA内に各部会が創設。



出典：農林業センサス



出典：JAこしみず